

第3回 アーバンデザインスクール  
シリーズ「アーバンデザインセンターを知る」

『“UDCBK”のコンセプトができるまで』  
～UDCBKの検討経緯について～

地域を知る  
互いを知る

未来の  
イメージ  
共有

新たな  
活動の創出

UDCBK

# UDCBK って なに？

さんがくこうみん  
産学公民が  
れんけい  
連携して

**U** - rban    アーバン

とし  
ミライの都市の

**D** - esign    デザイン

かんが  
デザインを考えるための

**C** - enter    センター

ひと    じょうほう    あつ  
人や情報が集まるところ

**B** - iwako    びわこ

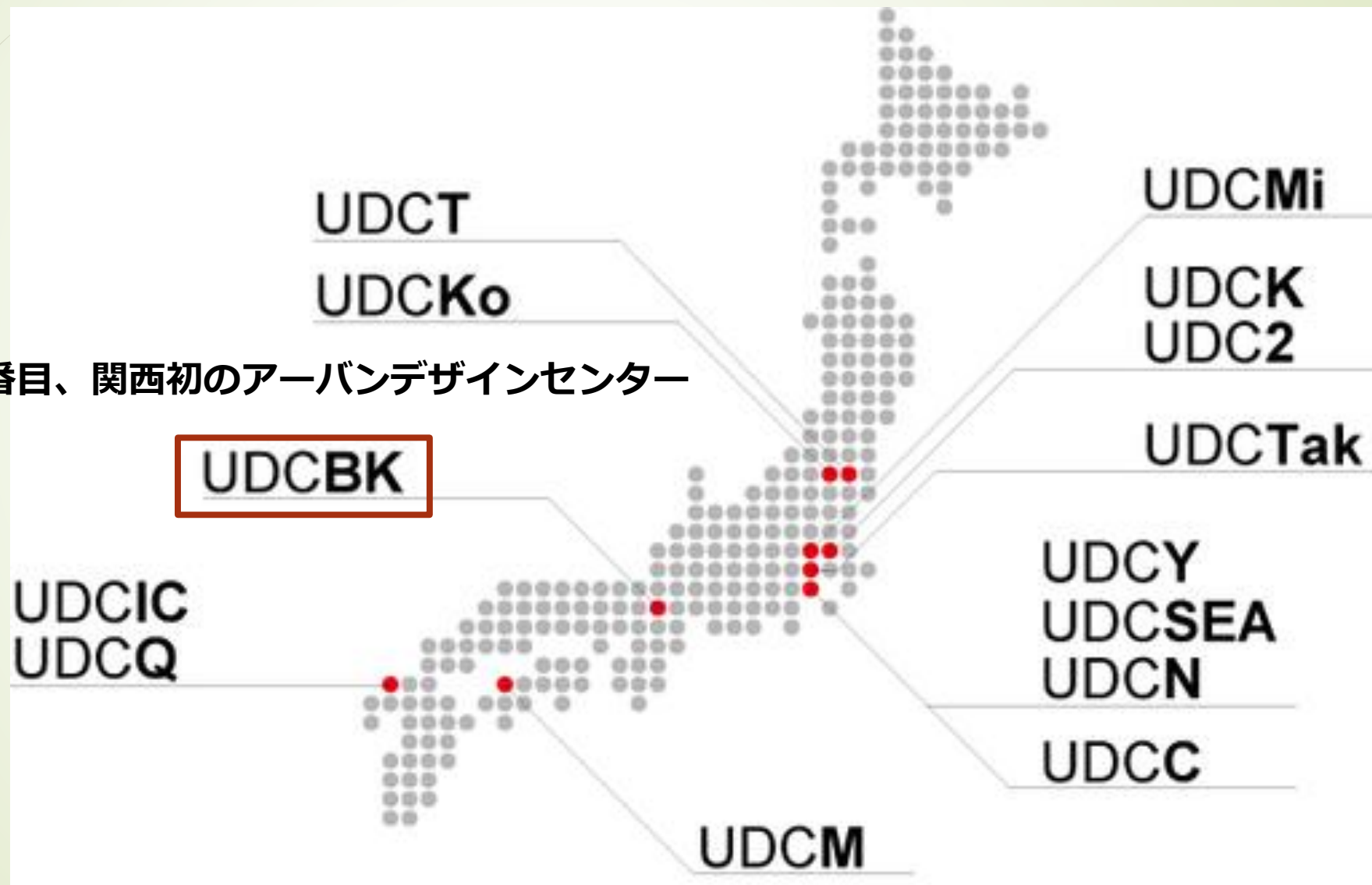
びわこがある

**K** - usatsu    くさつ

草津のまちの

# 全国14のUDC一覧

全国13番目、関西初のアーバンデザインセンター



# 人や情報が集まるところ UDCCBKの想い

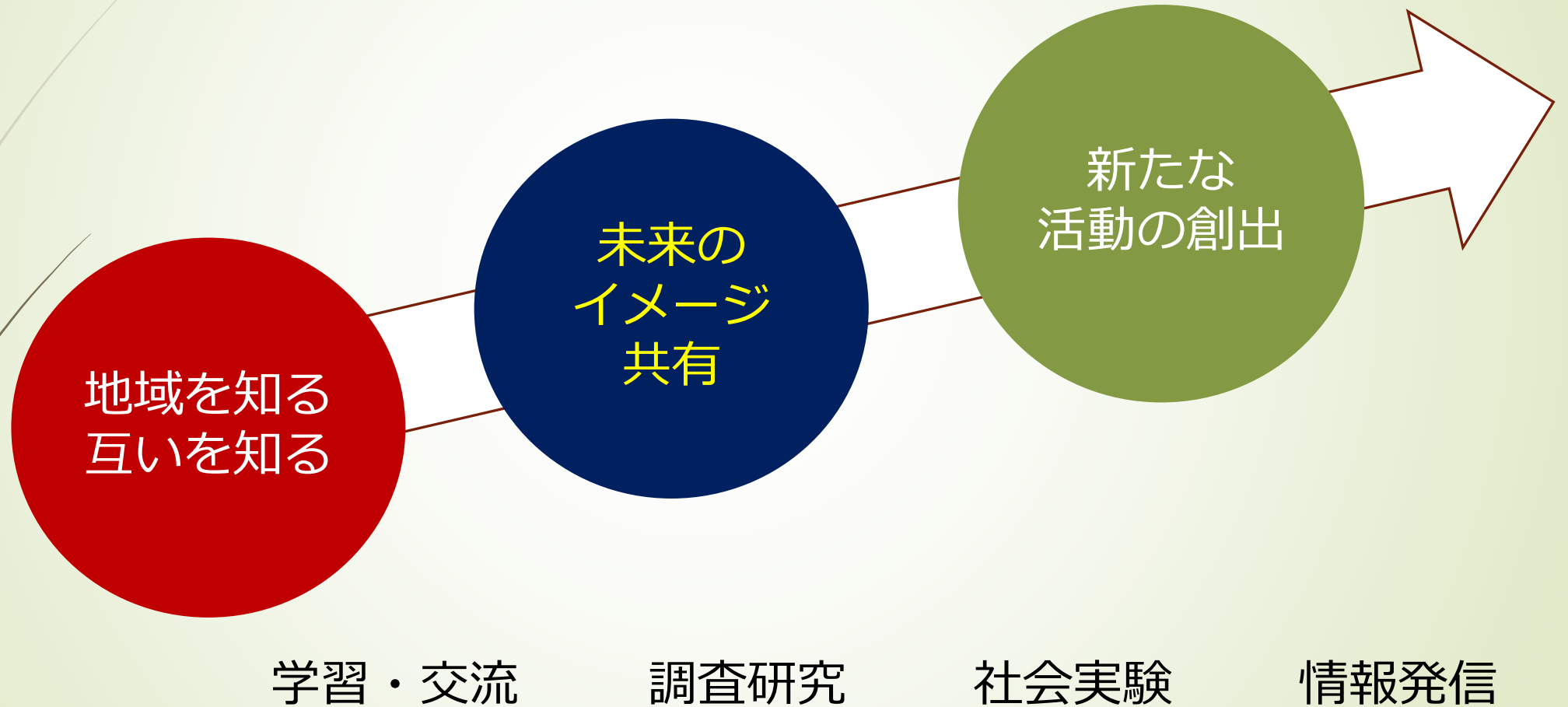
くさつ よ ころざし も たみ  
草津を良くしたいという志を持つ民が

くさつ みらい  
草津の未来について

たちば はな きがる じゆう たいわ  
立場を離れ、気軽に自由に対話できるよう

ていきょう ばしょ  
さまざまなサービスを提供する場所

## 3つのコンセプトと4つの機能



# 溝内 辰夫 (みぞうち たつお)

民俗学専攻  
(環境社会学)

5年?!

家庭の事情  
で関西へ

- 1964. 2. 22 大阪市住吉区に生まれる
- 1982. 3. 31 大阪府立住吉高等学校 卒業
- 1983. 4. 1 関西学院大学社会学部 入学
- 1988. 3. 31 関西学院大学社会学部 卒業
- 1988. 4. 1 三菱金属株式会社 入社
- (1990. 12. 1 三菱鉱業セメントと合併し、三菱マテリアル株式会社)
- 1995. 1. 1 地球事業センター環境資源リサイクル部へ
- 1999. 6. 30 三菱マテリアル株式会社 退社
- 1999. 7. 1 株式会社NTTデータ経営研究所 入社
- 2008. 8. 31 株式会社NTTデータ経営研究所 退社
- 2008. 9. 1 株式会社NTTデータ関西 入社
- 2015. 3. 31 株式会社NTTデータ関西 退社
- 2015. 4. 1 草津市役所

1996年、  
合併の象徴として  
社内公募で人材募集

環境・社会領域での  
ビジネスを検討して  
いるNTTデータに  
ヘッドハンティング

# 三菱マテリアル時代

- ▶ 1995年1月1日、地球事業センター環境資源リサイクル部に
- ▶ 通産省鉱山課とともに休廃止鉱山設備を核とした環境共生型地域づくり（リサイクル・マイン・パーク）構想検討、三菱マテリアルの持つ休廃止鉱山や工場等を中心に家電リサイクル工場等の立地選定と自治体との交渉、家電製品協会の家電リサイクル法検討チームに参加
- ▶ 1997年7月、宮城県鶯沢町（細倉鉱山跡地）に家電リサイクル工場建設を申し入れるが、町側から住民合意を条件とされる。住民合意形成担当

1年半で合意形成を取り付ける

- ・トランス・サイエンスの問題  
科学に問うことはできるが、解決することはできない問題
- ・欠如モデルから文脈モデルへの転換

- ▶ 1999年11月、通産省より「宮城県・鶯沢町エコタウンプラン」承認
- ▶ 環境省「リスクマネジメントの好事例」に取り上げられるなど今でも住民合意形成の成功モデルとして紹介されている。

# NTTデータ経営研究所時代

- ▶ 1999年7月、鶯沢町の取組を評価され、NTTデータ経営研究所に
- ▶ NTTデータは当時ITを活用したe-デモクラシー（オープンガバナンス）を検討しており、鶯沢町の事例に関心をもっていた。
- ▶ 2002年～2004年 「地域配慮型環境アセスメント促進事業」（環境省）

**あるべきときに、あるべきものが、あるべきところにある。**

- ▶ 2004年 「K O B E たべもの通貨構想」（JA兵庫六甲）
- ▶ 2004年 「企業の社会的責任と連動した地域通貨システムに関する共同研究」（立命館アジア太平洋大学、京都大学との共同研究）

**地域通貨は社会的大義（Cause）で人と人を繋げ、新たなストーリーを紡ぎだす。**

- ▶ 2004年～2007年 NTTドコモ モバイル・コミュニケーション・ファンド  
子どもの健全育成活動助成事業のプログラム・オフィサー
- ▶ 滋賀県環境情報システム基本構想」（滋賀県環境政策課）
- ▶ 特別支援学校の施設整備マニュアル」（文部科学省）

児童虐待（性的虐待）  
LGBT、広汎性発達障害、  
レイプ被害者、DV支援等



# (2004～2007) N P Oのためのブログセミナー ～ブログは偶然の出会いをもたらす～

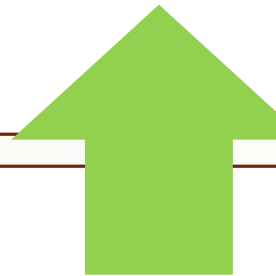
N P O活動だけでなく、  
個人的な趣味なども積極  
的に発信



宝塚歌劇の記事



N P Oの記事



トレイルランニング  
の記事



パーマントリンク

- ・記事毎に固有のURLを持つ。

トラックバッグ

- ・他人の関連する記事に相互リンクが貼れる

モブログ

- ・携帯電話からリアルタイムに位置情報、画像等とともに活動状況をアップできる。

カテゴリー

- ・「N P O活動」「宝塚」「トレイルランニング」などカテゴリー毎に分類できる。

# ブログを活用した、企業、NPO、生活者のコラボレーションの場づくり（2005年）

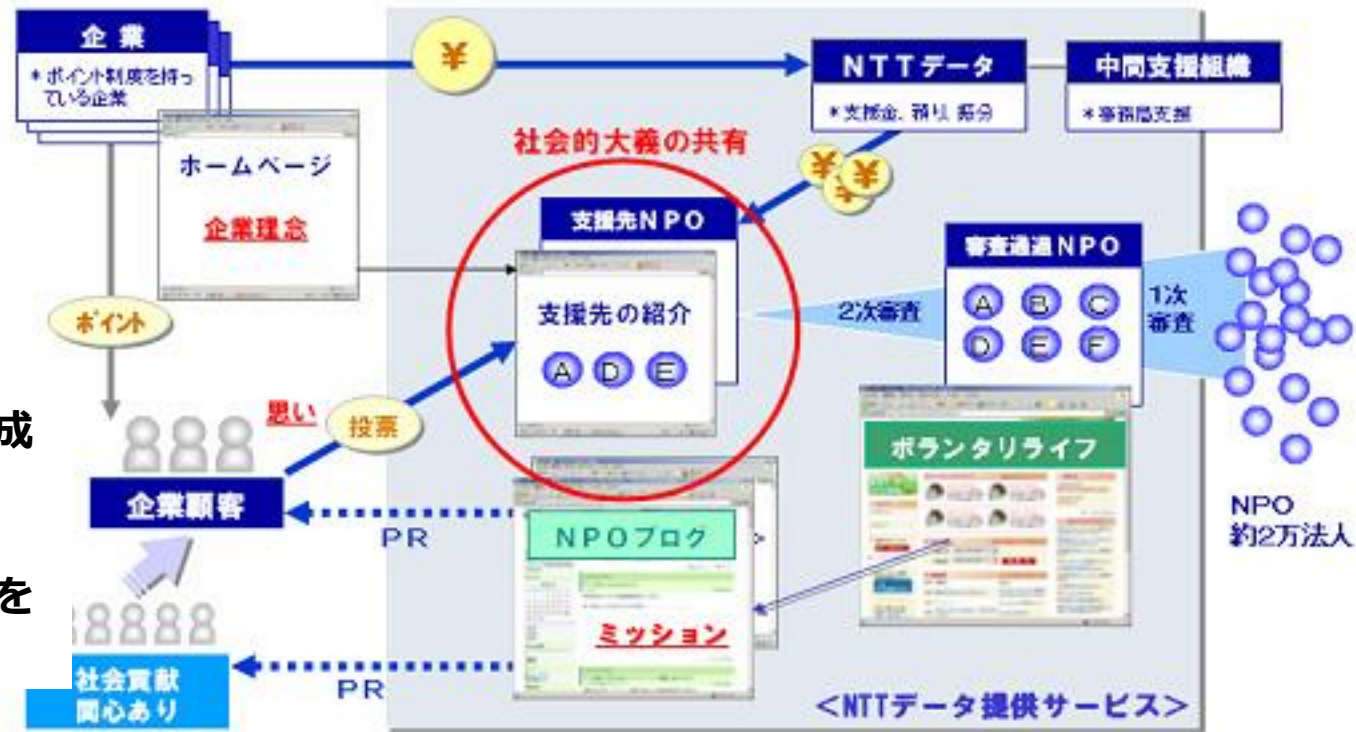
① **キャパシティ・ビルディング**  
効果的・効率的に事業を進める力

③ **企業ポイントの地域通貨的利用（企業ポイントの転々流通）**  
NPOへの企業ポイント寄附  
NPO活動参加者へのお礼

④ **多様なテーマ・コミュニティを形成**  
選択肢を増やす

⑤ **様々な測定データを収集し、活動を評価し、様々な表現で公表する。**

⑥ **市民は、活動の状況を把握しながら、時々最適なテーマ・コミュニティを支援する。**



② **NPOの情報発信支援**  
NPOを対象にブログ講座開催

# コーズマーケティング(Cause-Related Marketing)とは

- ▶ 「市民社会創造マーケティング」、「市民活動支援マーケティング」、「事業環境創出マーケティング」と、呼ばれる。
- ▶ 企業が自社の財・サービスの販売を通じて社会的な大義(=Cause)を同じくするNPO等市民活動団体の資金調達を支援するマーケティングを意味する。
- ▶ これにより、企業は営利事業では対応できないが、持続可能な事業にするために必要不可欠な社会環境を整備することが期待できるほか、NPOネットワークを通じたバイラルマーケティング(口コミ)による、自社の財・サービスの販売促進が期待できる。
- ▶ 1983年のアメリカン・エクスプレスの「自由の女神修復キャンペーン」が最初とされ、既に構造改革を終えた欧米で普及しているマーケティング手法。

# イリイチの教育思想

- ▶ 第一は、誰でも学習をしようと思えば、それが若いときであろうと年老いたときであろうと、人生のいついかなる時においてもそのために必要な手段や機材を利用できるようにしてやること、
- ▶ 第二は、自分の知っていることを他の人と分かちあいたいと思うどんな人に対しても、その知識を彼から学びたいと思う他の人々を見つけ出せるようにしてやること、
- ▶ 第三は公衆に問題提起しようと思うすべての人々に対して、そのための機会を与えてやることである。

(『脱学校の社会』 p.140-141)

# フリードリヒ・ハイエク 「ガーデナー（庭師）としての政府」

「庭師」の理性は、庭の手入れによって、そこから生じる未来の秩序を、後見的なものとして発見するのである。自生化主義の庭師は、庭の帰結をデザインするのではなく、予期しえない進化を含めて、植生の生成過程が自生的であることに喜びを見出している。彼は、「よりよい庭」を目指して介入するが、しかし何がよりよい庭であるのかについては、つねに問題化しながら、生成の過程に関わりつづける。（橋本2005）

- 自由に育てる。
- 必要とする栄養分を与える。
- 他の成長を妨げないことだけに気をつける。
- きっちりと成長日記をつけておく。
- 咲かなくても枯れてもタネは残しておく。

2015. 4. 1 臺灣

# 本事業に関連する調査研究実績一覧

- ▶ 平成24年度「南草津のまちづくりに関する調査研究報告書  
-南草津地域のまちづくりの方向性について- 」
- ▶ 平成26年度「大学と地域の連携に関する調査研究報告書  
-大学のある都市としての優位性を活かすために- 」

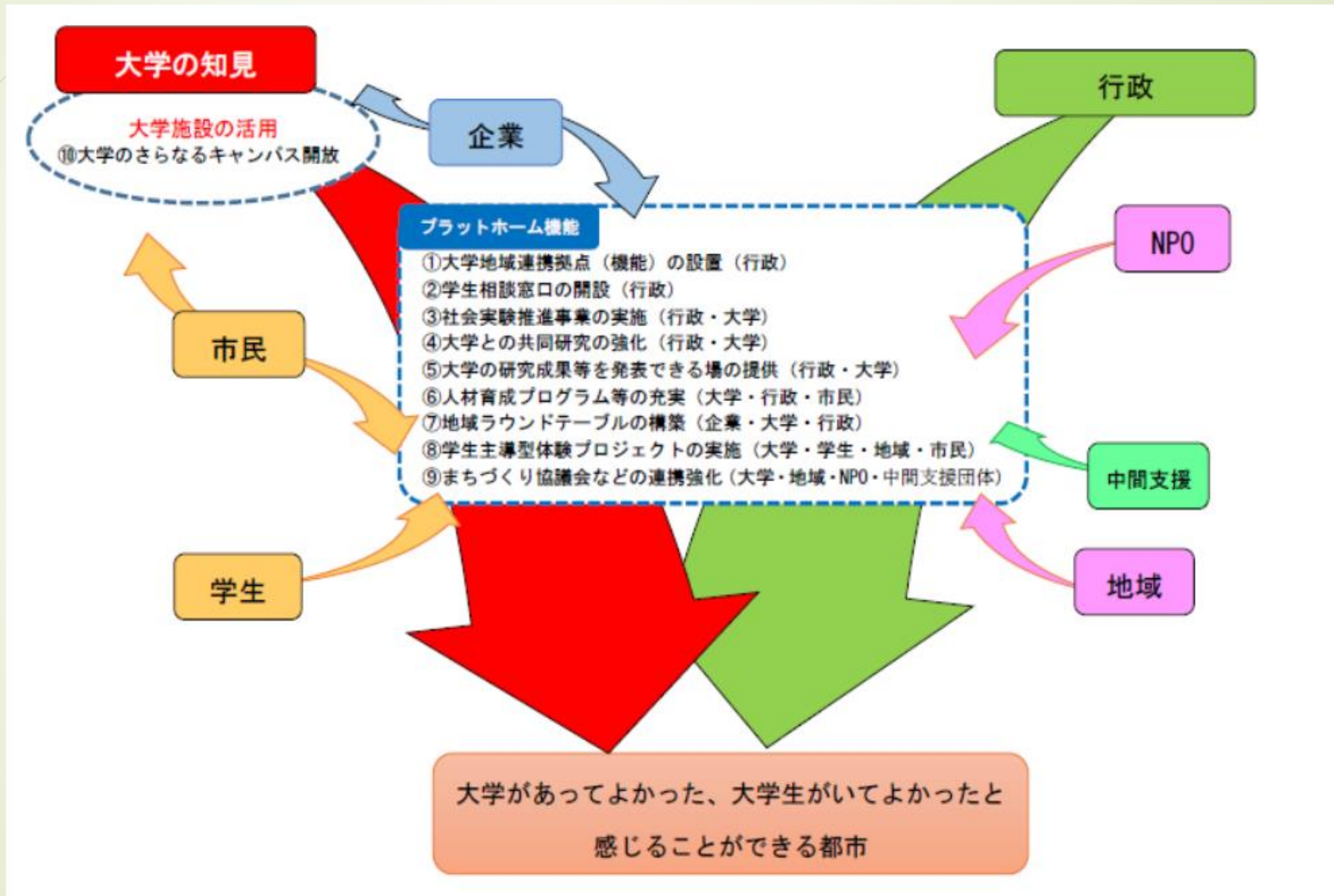
# 過去の調査研究による「南草津」の特徴

平成24（2012）年度「南草津のまちづくりに関する調査研究報告書-南草津地域のまちづくりの方向性について-」を一部修正

内部の環境	強み (Strength)	弱み (Weakness)	外部の環境	機会 (Opportunity)	脅威 (Threat)
	<p><b>(1) 20歳代、30歳代の来住や住宅購買力のある働き盛りの人の多さ</b>            (2) ドラッグストア、コンビニ等、生活の利便性がある店・施設の増加            (3) 駅を中心とした都市インフラ整備、公共交通の発達  <b>(4) 立命館大学の人的、知的、組織的な資源活用の可能性の高さ</b>            (5) 昼間人口が多い            (6) 子どもの数が多い            (7) 駅の乗降者数が多い            (8) 京阪神に近い            (9) 工場が多い</p>	<p>(1) 生活の場、居場所、憩いの場として魅力の未成熟（遊び場等）            (2) 居住者層とまちのつながり・コミュニティの不足（町内会、檀家等）            (3) 駅前としての公共の場の不足、街路樹の少なさ            (4) 「交流人口」を呼び込む魅力の不足            (5) 文化的、学問的、知的な要素の不足（専門書店等）            (6) 飲食店、ヘアースalon等、商業機能の偏り、連携の弱さ、一体性の不足            (7) ワンルームマンションの空室化            (8) 人の集まるイベントが少ない            (9) 回遊性がない。</p>		<p>(1) 新快速停車による通勤・通学圏の一層の広がり            (2) 広域道路アクセス及び広幅道路整備によるアクセスの容易性  <b>(3) 駅周辺の開発の活発化と人口増</b>  <b>(4) びわこ文化公園都市ビジョンの具体化</b>  <b>(5) 文化拠点としての可能性（クリアホール等）</b>  <b>(6) 防災・減災を意識したまちづくりの源流</b></p>	<p>(1) 本格的な高齢社会への準備の遅れ            (2) グローバル化による草津市製造業の拠点性の不確かさ            (3) 郊外型の大規模小売店の立地  <b>(4) サステナブル度（とくに社会安定度）評価の低さ</b>            (5) 18歳人口減少による立命館BKCの将来性の不明確さ  <b>(6) 類似した性格を持つ湖南地域の都市の発展</b>            (7) 市内の新駅設置の可能性</p>



## 平成26年度「大学と地域の連携に関する調査研究報告書」



# 調査研究における視察先一覧

- ▶ 平成24年度「南草津のまちづくりに関する調査研究報告書  
-南草津地域のまちづくりの方向性について-」
  - ▶ 開かれたまちづくりの場：**柏の葉アーバンデザインセンター**（千葉県柏市）
  - ▶ 住む人が老いることを考えたまち：ユーカリが丘（千葉県佐倉市）
- ▶ 平成26年度「大学と地域の連携に関する調査研究報告書  
-大学のある都市としての優位性を活かすために-」
  - ▶ 相模原市立市民・大学交流センター
  - ▶ **柏の葉アーバンデザインセンター**
  - ▶ 金沢市学生のまち・金沢の推進
  - ▶ 学生タウンなごやの推進

# 課題解決のための方向性

## 【提案】

- ▶ 立命館大学びわこ・くさつキャンパスを有する等の（南）草津の強みを最大限に生かしながら、**就業・通学者たちがゆるやかにまちづくりにかかわれるような仕組みづくり**  
(平成24年度「南草津のまちづくりに関する調査研究報告書」参照)
- ▶ **気軽に自由に議論や話ができる空間が演出され、常に新しい出会いが創造されること**  
(平成24年度「南草津のまちづくりに関する調査研究報告書」)
- ▶ 地域をベースに**市民と行政、企業、大学等が連携してまちづくりを進めていくための「場所」、「環境」である連携拠点（機能）**が必要  
(平成26年度「大学と地域の連携に関する調査研究報告書」)

連携拠点の仕組みとして  
**アーバンデザインセンター（UDC）が有効**

## 3つの課題と3つのキーワード

なぜ居場所があるのか？

サードプレイス

今までとどこが違うのか？

未来（志向・思考・試行）  
産学公民連携

アーバンデザインとは何か？

アフォーダンス

# UDC 3つのキーワード

サードプレイス

未来（志向・思考・試行）・産学公民連携

# 住みよさランキング 2016

**近畿圏 4年連続第1位！**

近畿地区	自治体名	西日本	全国
1	草津（滋賀県）	2	20
2	芦屋（兵庫県）	3	30
3	甲賀（滋賀県）	4	37
4	守山（滋賀県）	8	50

# 住みよさランキングの指標

住みよさランキングの算出に用いた指標

採用指標	説明	年次	出典
安心度	1 病院・一般診療所病床数(人口当たり)	2013年10月	厚生労働省「医療施設調査」
	2 介護老人福祉施設・介護老人保健施設定員数(65歳以上人口当たり)	2013年10月	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」
	3 出生数(15～49歳女性人口当たり)	2013年度	総務省「住民基本台帳人口要覧」
	4 保育所定員数-待機児童数(0～4歳人口当たり)	2013年10月、 2013年4月	厚生労働省「社会福祉施設等調査」、 同「保育所関連状況取りまとめ」
利便度	5 小売業年間販売額(人口当たり)	2012年	総務省「経済センサス-活動調査」
	6 大型小売店店舗面積(人口当たり)	2014年4月	東洋経済「全国大型小売店総覧」
快適度	7 汚水処理人口普及率	2014年3月	国土交通省・農林水産省・環境省「汚水処理人口普及状況」、各都道府県調べ
	8 都市公園面積(人口当たり)	2013年3月	国土交通省調べ
	9 転入・転出口比率	2011～2013年度	総務省「住民基本台帳人口要覧」
	10 新設住宅着工戸数(世帯当たり)	2011～2013年度	国土交通省「建築着工統計」
富裕度	11 財政力指数	2013年度	総務省「市町村別決算状況調」
	12 地方税収入額(人口当たり)	2013年度	総務省「市町村別決算状況調」
	13 課税対象所得(納税義務者1人当たり)	2013年度	総務省「市町村税課税状況等の調」
住宅水準充実度	14 住宅延べ床面積(世帯当たり)	2013年10月	総務省「住宅・土地統計調査」
	15 持ち家世帯比率	2013年10月	総務省「国勢調査」

※指標の色付き箇所

前年度から変更になったもの。

※ランキングの算出方法

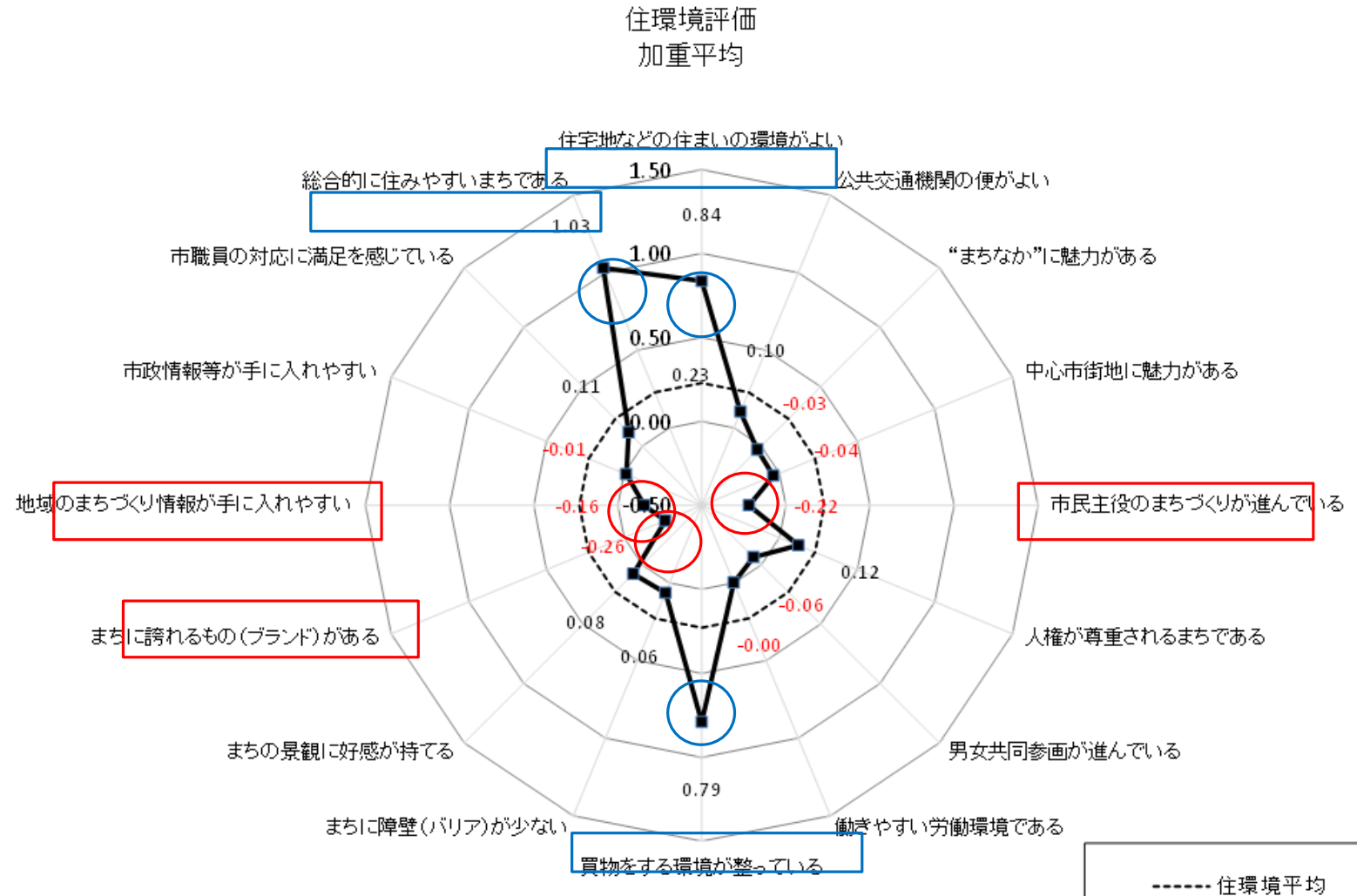
上記15指標について、それぞれ平均値を50とする偏差値を求め、その単純平均を総合評価として順位付けしている。

同様に「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」「住居水準充実度」部門ごと評価も、各指標の偏差値を単純平均している。

(各指標の偏差値) =  $10 \times ((\text{個別指標の値}) - (\text{各指標の平均値})) \div (\text{各指標の標準偏差}) + 50$

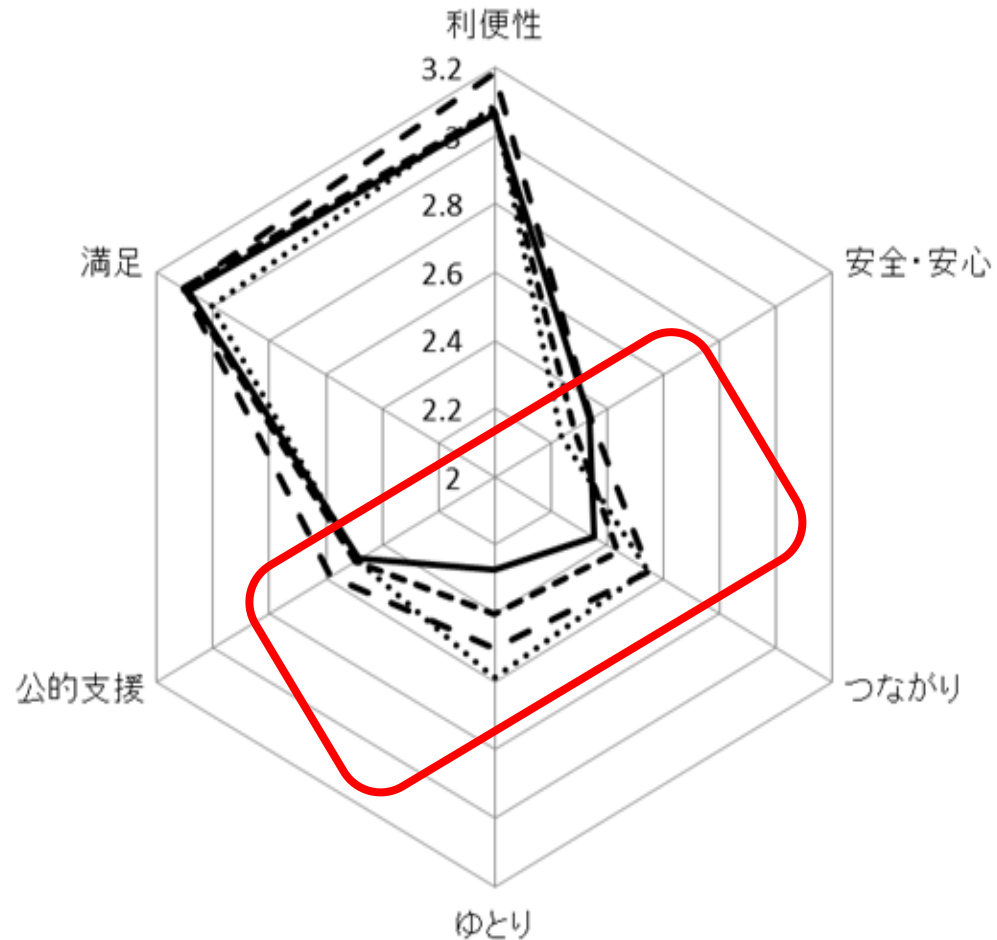


# 平成27年度草津市のまちづくりについての市民意識調査結果





# 各要因(領域)別 「住みやすさ」 に対する意識



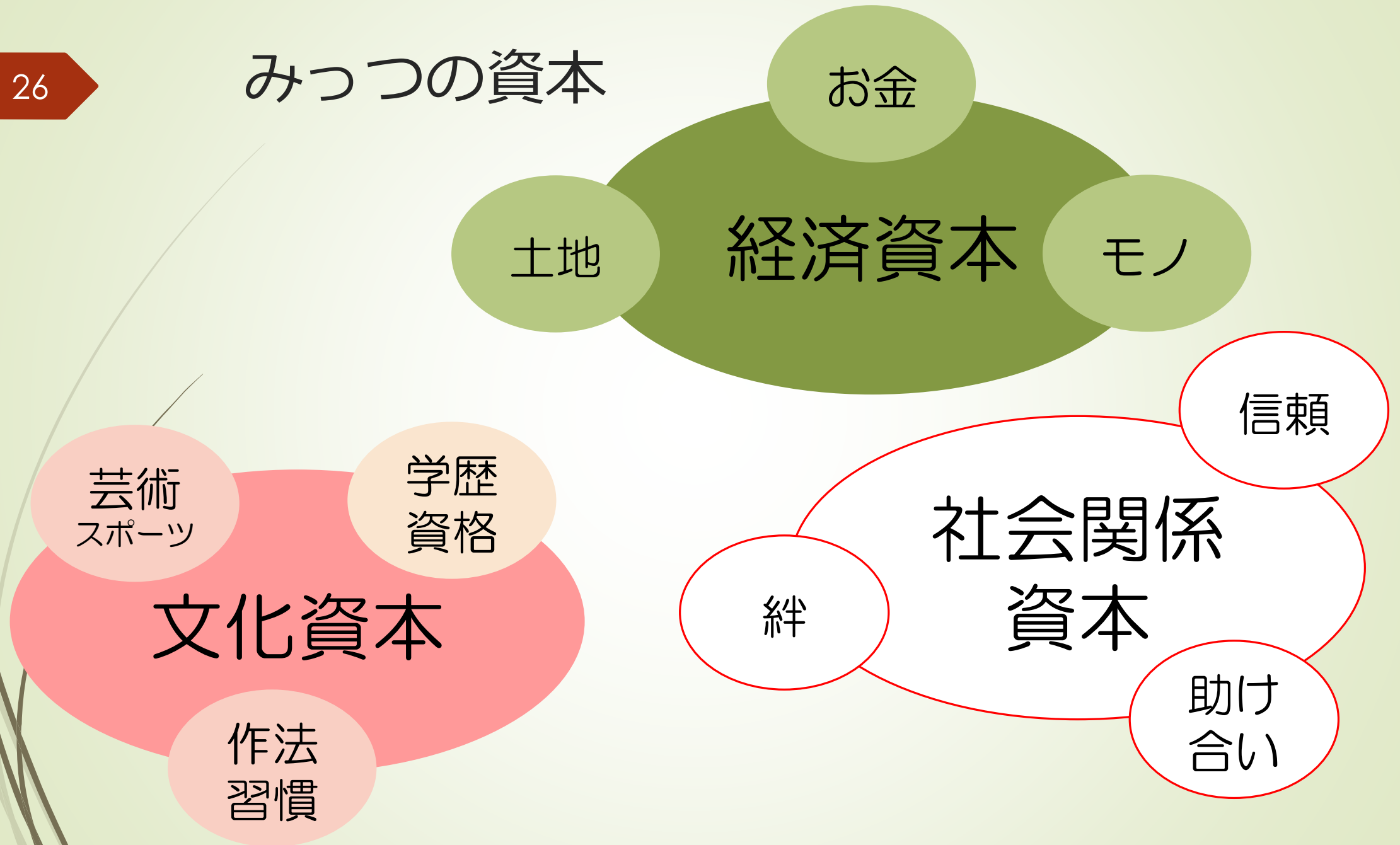
要因(領域)	要素(項目)	現状に対する評価が高いもの(平均値以上)
利便性	公共交通(バス・電車)の利便性が良い	○
	日常の買い物の利便性が良い	○
安全・安心	犯罪が少ない	
	災害が少ない	
つながり	集える場所がある	
	近所を含むコミュニケーションがある	○
ゆとり	伝統・文化	
	イベント等への参加	
公的施設	医療施設が充実	○
	高齢者施設が充実	
	子育て関係施設や教育が充実	

出所: 草津未来研究所作成

- 新市街地
- 旧市街地
- . - 新旧混在
- ..... 郊外

\* 「満足」はアンケートによる全体的な草津市の住みよさの満足度

## みっつの資本



# オルデンバーグが定義する “サード・プレイス”の8つの特徴

- **中立領域** サード・プレイスの構成者は義務感からそこにいるのではない。彼らは、経済的、政治的、法的に縛られることなく、喜んでやってくる。
- **平等主義** サード・プレイスは、個人の社会における地位に重きをおかない。経済的・社会的地位は意味がなく、ありふれていることが許容される。サード・プレイスでは参加するために、何も必要条件や要求がない。
- **会話が主たる活動** 遊びココロや楽しい会話がサード・プレイスの活動のメインフォーカスである。会話のトーンは気軽で、ユーモア、ウィットがあり、優しい遊びココロは高く評価される。
- **アクセスしやすさと設備** サード・プレイスはオープンで、みなが訪れやすい環境。柔軟で親切で、集まる人のニーズにこたえる。
- **常連・会員** サード・プレイスは、常連がいて、空間やトーンを形成する。その場所らしさを彼らがつくる。新たな訪問者を惹きつけて、新参加者にも優しい。
- **控えめな態度・姿勢** サード・プレイスは、健全である。その中には無駄遣いや派手さはなく、家庭的な感じ。偉ぶったり、排他的であってはいけない。いかなる個人、あらゆる階層の人を受け入れる。
- **機嫌がよくなる** サード・プレイスでの会話のトーンは、けっして緊張や憎悪を生んではいけない。その代わりに、陽気でウィットに富んだ会話、気さくな冗談は歓迎される。
- **第2の家** サード・プレイスにいる人たちは、しばしばあったかい感情を共有する。あたたかも同じ家に暮らす者同士のように。この場所に根ざしている感情を持ち、精神的に生まれ変わることを得る。

# サードプレイスとしてのUDCBK

育休中の方

リタイア  
された方

子育て世代

ファーストプレイス 家庭

セカンドプレイス 職場

サードプレイス  
(居心地のいい場所)



普段着の  
お父さん

小中高生



# 子育て世代のサードプレイス



# 外国にルーツを持つ人たちのサードプレイス



# 学生たちのサードプレイス



# 混ぜる





# うまれる UDCBKの4つの事業

普段出会わない人や知識との  
偶然の出会い



学習・交流

新たな解釈 1

新たな解釈 2

新たな解釈 3

サードプレイス  
(居心地のいい場所)

社会実験 1

社会実験 2

社会実験 3

解決案 1

解決案 2

解決案 3

新たな疑問 1

新たな疑問 2

新たな疑問 3

調査研究 1

調査研究 2

調査研究 3

人や情報

情報発信

\* 実際は「交流⇒学習⇒調査研究⇒社会実験」と順番に進むのではない

# UDC 3つのキーワード

ロードプレイス

未来（志向・思考・試行）・産学公民連携

# ミライ って？



何度でも  
違う角度で

けいけん ず  
**経験済み**

ひょうか かのう  
**評価可能**

げんざい  
**現在**

かこ  
**過去**

ミライ

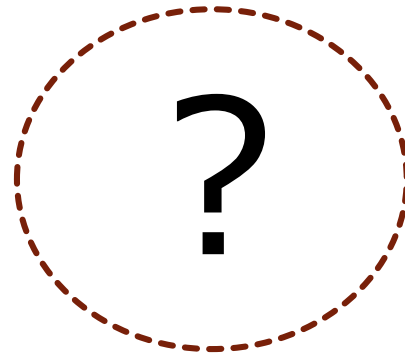
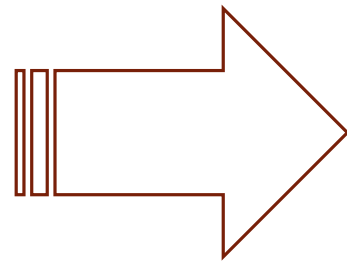
み けいけん  
**未経験**  
ひょうかふか  
**評価不可**

# バック・キャストイング

## 従来の行政モデル

### フォア・キャストイング

- 過去の延長線上にミライを考えるため、「確からしさ」を求めるあまり現状の「変わらない理由」に捉われる。



## UDCBKモデル

目指す  
ミライ

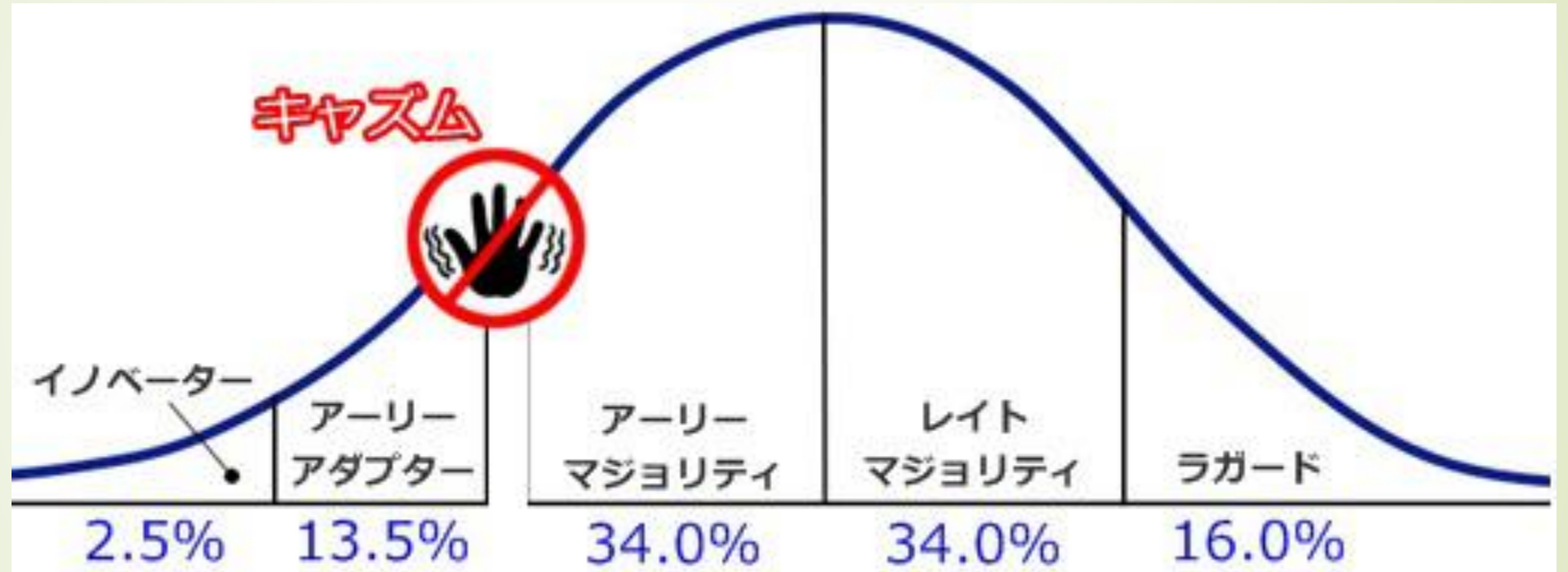
### バック・キャストイング

- ミライに備え、現在しておかなければならないことを考えるため、過去に捉われない。

# (参考) UDCBKのターゲット

未来先取

現実対応



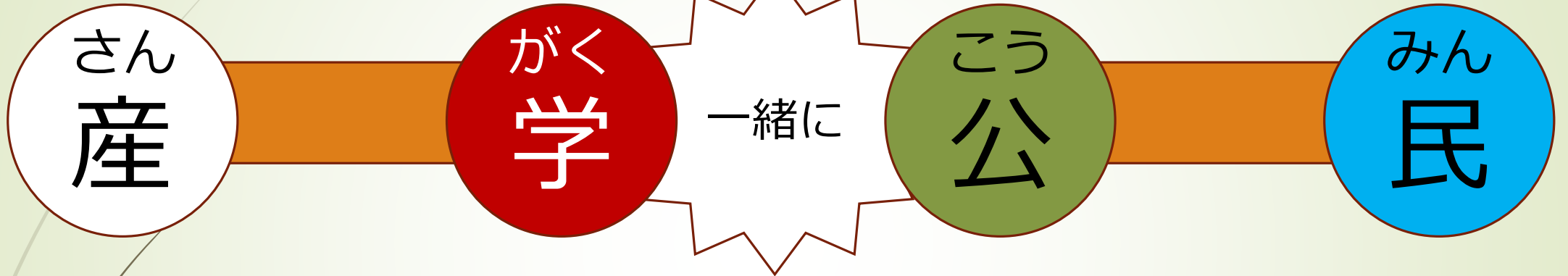
マーケティングis.jp

「イノベーター理論とキャズム理論」 <http://marketingis.jp/archives/2365>

アーバンデザインセンター  
のターゲット

従来の行政のターゲット

さんがくこうみんれんけい  
産学公民連携って？



かいしゃ みせ こうじょう のうか  
会社やお店、工場、農家  
さんなどものやサービスを  
う ひと  
つくって売る人

だいがく はたら せんせい  
大学などで働いている先生  
しょくいん こくないがい  
や職員、そして国内外の  
がくせい  
学生のみなさん

くに けん しちょうそん やくしよ  
国や県や市町村のお役所、  
しょうぼうしよ けいさつ はたら  
消防署や警察などで働い  
ひと  
ている人やNPOなど

す こそだ  
**あるまちに住んで**、子育て  
かいご  
や介護やそうじをしたり、  
ちいき  
サークルをしたり、地域の  
かつどう  
ためにいろいろな活動をし  
ひとびと  
ている人々

草津のみらいをつくる！

さんがくこうみん れんけい  
産学公民が連携して ?

草津のみらいをよくしたいという  
志（こころざし）を持つ民（たみ）

UDCBK

市民活動

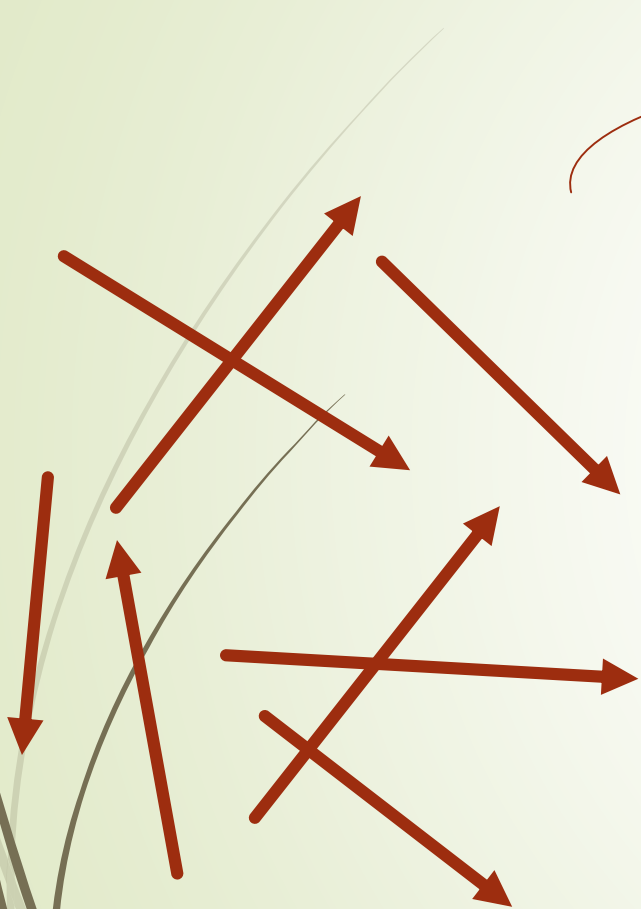
さん  
産

がく  
学

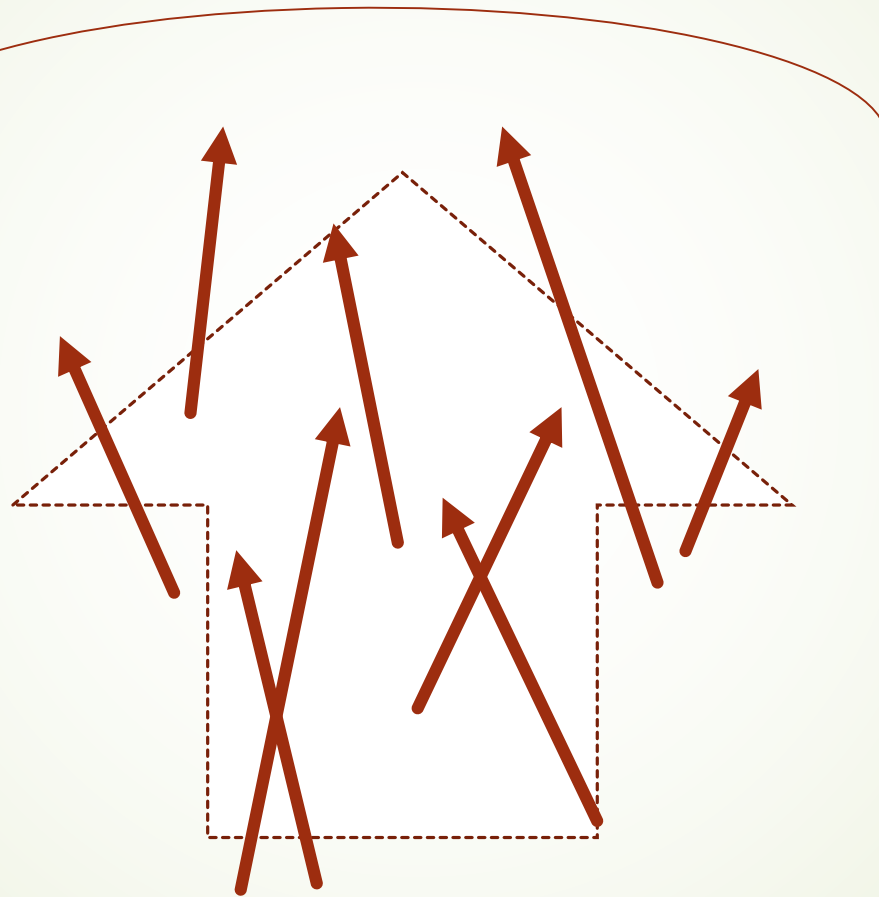
こう  
公

みん  
民

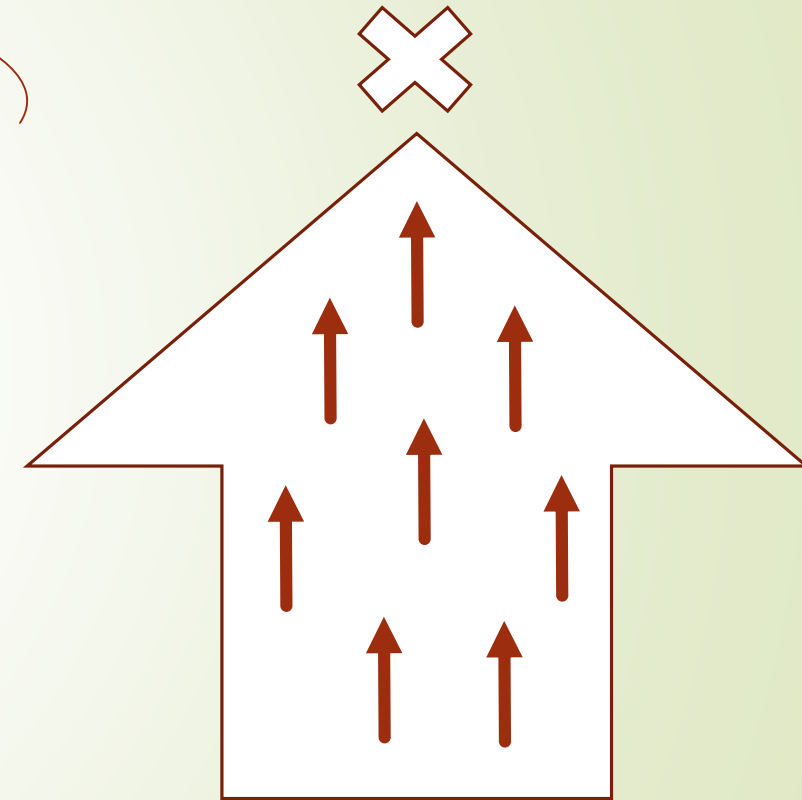
## 庭師（ガーデナー）としてのUDCBK



ばらばら



未来志向



現在志向

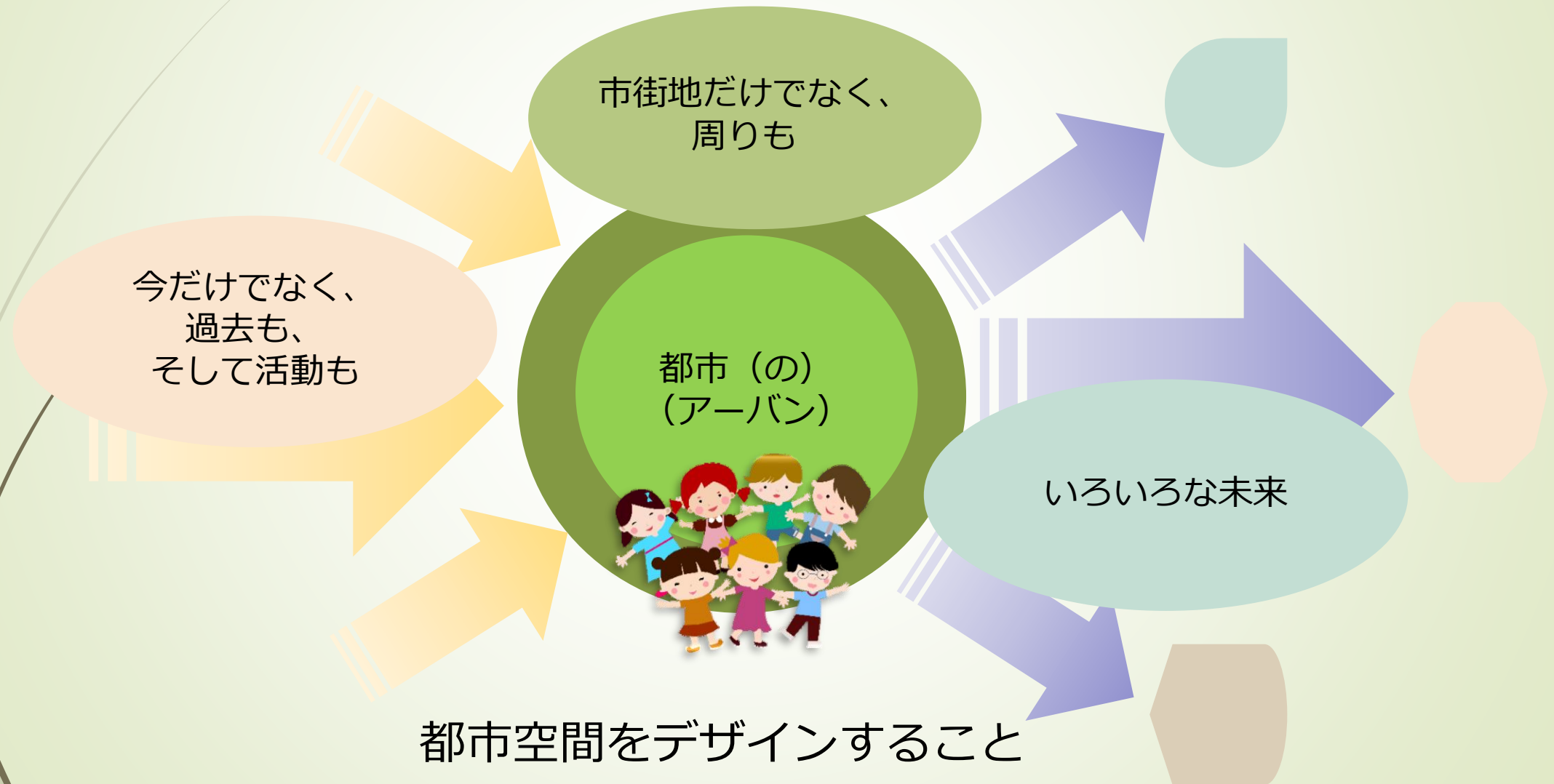


# UDC 3つのキーワード

未来（志向・思考・試行）・産学公民連携

アフォーダンス

# アーバンデザインとは？



# Urban Planning から Urban design へ

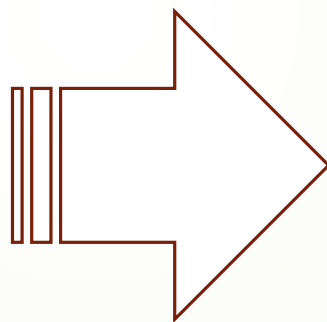
## アーバン (urban)

英語で「都会的な」、「都市的な」という意味

## プラン (Plan)

“計画”という意味を表わす最も一般的な語

図面、**平面図**、地図



## デザイン (design)

語源は“計画を記号に表す”という意味のラテン語designare

デザインとは、ある問題を解決するために思考・概念の組み立てを行い、それを**様々な媒体に応じて表現**すること

平面的で静止画的な都市計画から

立体的で時間と空間を意識した動画的なアーバンデザインへ

# アフォーダンスという概念

- ▶ (afford = 与える, できる) をもとにつくった心理学の用語
- ▶ 活動を誘発するデザイン



# (参考) アーバンデザインの事例

JR西日本



成田空港 第三ターミナル



# アーバンデザインを生み出す条件

- その街に少しでも興味関心がある人であれば誰でもが気軽に自由に話し合える場所があること
- 地域の政策や課題について学習したい人、または自分の考えを伝えたい人が容易に出会い、学習する場所があること
- その街で生活を営んでいる住民が、街に愛着を持ち、共同体に属して生活していると実感できるさまざまな活動があること
- アーバンデザインを考えて、都市計画を行うことができる専門家がいること
- 専門家と市民を繋ぐ媒介の専門家と地域の専門家がいること

# アーバンデザインはトランス・サイエンス

- ➡ 科学に問うことはできるが、科学のみでは答えが出せない問題群



アムステルダム



グアナファト

## 媒介の専門家の役割①



科学は想定した災害規模  
に対して答えることはで  
きる。

どんな災害規模を想定す  
るかは科学のみでは答え  
られない。

専門家と市民と一緒に、どんな条件でデザインを考えるかを決めます



## 媒介の専門家の役割②



景観を統一することによる経済効果や環境への影響など問うことはできる

景観をどのように統一するかは科学に決めることはできない

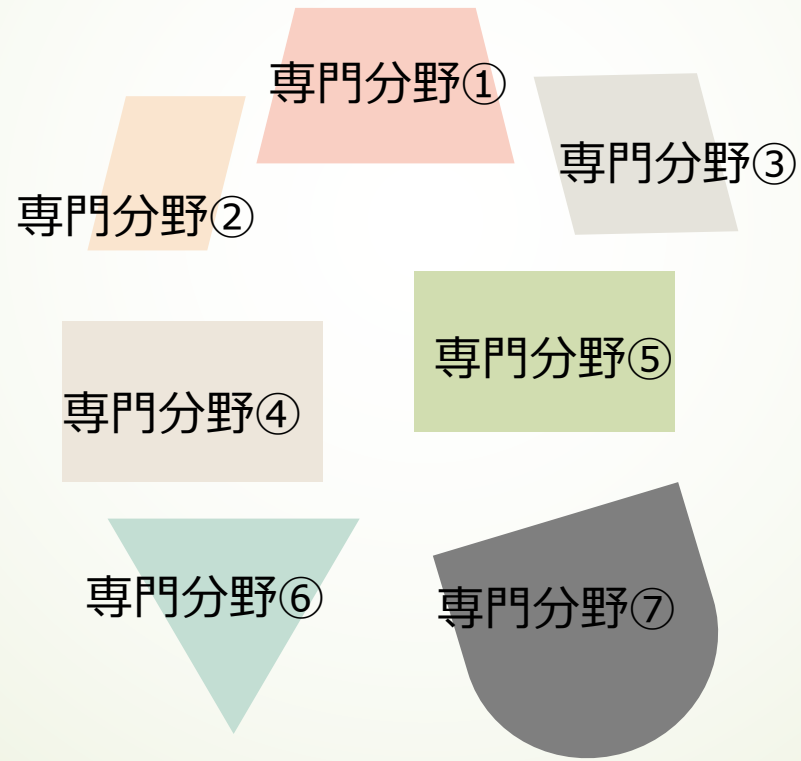
専門家と市民と一緒に、デザインを選ぶ基準を考えます。

# 地域の専門家（イメージ）

地域の課題

課題解決の専門家群

地域の専門家の方々



例えば、草津に10年以上住み、  
子どもを育てている経験からの  
地域の専門家

# アーバンデザインスクール（学習）

## ▶ 目的

専門家と市民を繋ぐ媒介の専門家、草津に住んでいる経験をベースにした地域の専門家の育成を目的とする。

## ▶ 実施要領

▶ 回数： 4～5回を1クール/半期として、年間2クール行う。

▶ 媒介の専門家コース、地域の専門家コースをそれぞれ1クール実施する。

### ▶ 媒介の専門家コース

専門家と市民を媒介するために必要な「コミュニケーション」「ファシリテーション」「プレゼンテーション」「コーディネート」「コラボレーション」能力等の取得を目指す。

### ▶ 地域の専門家コース

「アーバンデザイン」「交通問題」「子育て政策」「食と健康」「スポーツと健康」「産業振興」等をテーマに学ぶ。

▶ 定員： 20名程度（全回出席できること）

アーバンデザインセンターって  
どんなところ？

 企業(産)

 大学(学)

 行政(公)

 市民(民)

4つが一緒になって  
未来の草津について  
話し合える場です。

交流・学習会  
を行ったり

社会実験  
を行って

新たな活動に  
つながって  
いきます！

いろいろな  
未来のまちの  
イメージが  
出来上がり

調査研究  
を行ったり

みなさんの交流の中から……

草津のみなさんが気軽に、自由に、  
草津について話し合える場です。  
ぜひ、一度お越しください。

学生、企業  
子ども連れ、  
ご年配の方  
外国籍の方も  
大歓迎！

交流する中で、  
まちづくりのアイデアの種を見つけ、  
とりあえず育ててみます。

いろいろな時期や、育て方をためして  
どんな花が咲くのか、みてみよう。

育った種は、  
適切な時期、場所に植えかえて  
花を咲かせます。

## UDCBKの評価の難しさ

- 直接的な経済効果を生み出さない。
- 地域の課題解決に直接繋がるわけではない。
- どのような活動が生み出され、どのような好影響を地域に与えるか事前に予測できない。
- セミナーの開催数や利用者数だけでは物足りない。

# UDCBKの目標

## いろいろな未来のまちのイメージ（選択肢）の展示室

- ▶ 行政や開発業者等が政策や開発などの事業を検討する際、**ここにすれば**、公式、非公式を問わず、アーバンデザインに必要な情報が入手できる、
- ▶ さらに詳しい情報が欲しい場合、**ここに頼めば**、その事柄に関心のある市民や専門家を集め、アーバンデザインに関する意見交換の場を作ることができる、
- ▶ **ここにいれば**、すぐに地域の人たちがどのような考えに基づいて、具体的な活動をしているかがわかる、
- ▶ **ここがあれば**、新たな政策や開発を行う際のアーバンデザインについて、科学的知識を踏まえることができ、その結果として草津にふさわしい街並を促進することができる。

## これからの課題

魅力あるテーマの選定

オープンスペースの活用

新拠点

非日常を演出しワクワクする空間

# 魅力あるテーマの選定

交 通

健 康 (幸)

琵琶 湖



# UDCBK オープンスペース (時間資源・空間資源の活用)



# 新拠点を検討する上での条件①

## 外観 (周辺環境)

- 南草津駅前の人通りの多い道路に面したビルの1階が望ましい  
(地図の枠内)
- 公園や広場などの近くが望ましい
- 建物はガラス張りで、外から内部が見える

## 内観 (設備等)

- 多目的ホールとして設計する
- 机や椅子は自由に移動できる
- ホワイトボードやプロジェクターなどが常備する
- 飲食の持ち込みを可とする(小さなカフェ機能)
- まちの情報ステーション的な機能も兼ねる
- 子育て世帯が多い地域のため、プレイルーム的な機能を持たせる
- バス待ちなど学生や社会人の待機場所としても活用する
- 無線WiFi、PC及びスマホ用電源を整備する

# 新拠点を検討する上での条件②



# 構造的資本（アイデア創出）—新拠点

